

千川中学校だより

11月号 平成29年11月17日(金)

創立70周年記念式典・祝う会を前にして

千川中学校長 紅床 直也

中国唐代の詩人杜甫は漢詩「曲江」に「人生七十古来稀なり」と記しましたが、本校の歴史も七十の節目を超えることとなりました。昭和22年の新制中学校設立以来、合併を経験しない単独校として歴史を刻み続け、本年3月末現在、実に17,045名の卒業生を送り出しています。今月25日(土)には、記念式典と祝う会を開かせていただきます。

学校の中心は生徒自身であり、学校はその一人ひとりの個性を見極め、より良く成長させる使命があります。現在、学校は式典準備の最終段階に入っていますが、この記念すべき年に在籍している生徒に主体的に関わってもらふことにより、生徒・保護者・地域が三位一体となって本校の未来への可能性を広くお示しする機会としたいと考えています。

当日配布予定の周年記念誌「千川」には設立当時から70年のあゆみを新たに発掘した貴重な写真を含めて紹介させていただくとともに、本校を応援し、良き伝統に寄与してくださった各方面の方々からのお祝いの言葉を頂戴いたしました。特にかつて本校に在籍・在職していた方々からの愛校心あふれる文章に感激するとともに、改めてこれからの千川中を維持・発展させていかねばならないという決意を新たにしました。

周年誌には本校生徒一人ひとりが、1年生＝「千川中学校に入学して良かったこと」、2年生＝「千川中学校のここが素晴らしい」、3年生＝「千川中学校の良き伝統」という学年テーマに沿ったコメントを寄せています。どのコメントにも現在の学校生活を心から楽しんでいこうという前向きなメッセージを感じ取ることができます。

現在、全校生徒による記念作品(ちぎり絵自画像)を製作しています。授業時間を確保しながら、工夫して生み出した余剰時間を活用してのオブジェとなります。全校生徒の自画像が集まった時、最終的にどんなものになるのか、楽しみにしていただければと思います。先日の文化祭講評でも述べさせていただきましたが、本校の自慢は「生徒」ですので、その活躍の場を多く設定して、式典が単なる儀式・通過点で終わることのないよう、あくまで教育の一環としての活動・発表の場であることを目指しています。

本校は古い校舎設備を大切に使っています。全校生徒合わせて1500人を超える時代もあったため、校舎は継ぎ足し継ぎ足しの構造ですが、平成35年予定の新校舎着工の準備が始まるまで、同窓生の思い出がたくさん詰まった現校舎を磨き上げていきたいと思っています。

さて、既に学校だより9月号や同月実施の新入生保護者でも触れており、合わせて10月のPTA運営委員会便りにも掲載させていただきましたが、未来へ続く千川中学校の一つの象徴として、現在、通学カバンのデザインの改良に動いています。10月に実施されたPTAの会議では異論は無く、むしろもっと早く踏み切ってほしかったという意見をいただきました。年度当初2,3年の生徒からとったアンケートはもちろん、慎重に地域や・PTA役員など、各方面からのご意見をいただきながら、リュック式の千川中オリジナルカバンの製作・採用に向けて具体的に動いています。来年の新入生保護者会には現物をお示しし、来年度新入生から採用の予定です。(他学年で新カバンを購入したいという生徒でも使用OKとしたいと考えています。詳しくは10月既発行のPTAだよりをご覧ください。)

現在、本校は区内中学校8校中、最も生徒数の少ない学校です。それだけに生徒一人ひとりを丁寧に見とり、その可能性を伸ばす指導・支援ができる環境が整っています。来年1月12日(金)の豊島区教育委員会研究推進校の研究発表に向けて全教職員の授業力を上げながら、70周年に恥じない魅力あふれる学校を作ってまいります。

創立 70 周年記念文化祭

みんなの思いが積み重なって

スローガン「響け、歌声 つながれ、心」のもと、クラスや学年がひとつになり、歌詞に心を込め、ひとつの歌を創りあげました。また、各団体の舞台や展示発表においても、生徒一人一人が個性を発揮し、持てる力を最大限に出して作品を完成しました。みんなの思いが積み重なって、そしてつながっていく喜びを感じる文化祭となりました。多くの保護者や地域の皆様にご参観いただき、ありがとうございました。生徒たちは大きな行事を経験するごとに、目指す学びのめあてを達成し、成長しています。友達の個性や良さを認め合い、様々な考えや価値観に触れることにより、人としての視野を広げることにつながってほしいと思います。



平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果

平均正答率を見てみると千川中の 3 年生は国語 A（主として知識）の問題では、全国平均とほぼ同じ、数学 B（主として活用）の問題では、2.9 ポイント上回りました。一方、意識調査の結果では、昨年度、否定的な回答が多かった「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。」という質問項目に対して、今年度は、「得意である」「どちらかといえば得意である」と回答した生徒の割合が、5.3 ポイントほど上回り、「不得意である」と回答した生徒は 18.1 ポイントほど下がりました。本校では、豊島区教育委員会研究推進校の指定を受け、平成 28・29 年度の 2 年間にわたり「自ら学び、課題を解決する資質の育成～主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業の推進～」を研究主題として授業改善に取り組んでいます。その研究実践の中で、他者と力を合わせて課題を解決していく力を育むことは、未来の創り手となる子どもたちにとって大切なものであると考えます。これを踏まえ、全教育活動を通して「**自分の考えや意見を伝えることができる力**」の育成に、学校が一丸となって取り組んできた成果の現れと捉えています。

※研究発表会 平成 30 年 1 月 12 日（金）

◆◇セーフティ教室 11 月 11 日(土)開催◇◆

中学生の携帯電話やスマートフォンの保有率は、年々高くなっています。便利な道具ではありますが、使い方によっては、とても怖く、想像以上の事態を招きます。社会でもコミュニケーションアプリによるトラブルが数多く報道されています。個人や他者の大切な情報が広がってしまったり、相手を大きく傷つけたり、自分が深く傷ついたりすることもあります。本来の利用目的、利用時間、利用場所、利用するときの公共のマナーについて、しっかり考えて責任ある使い方をしてください。ご家庭でもルール作りをお願いいたします。

千川中学校「携帯ひじき運動」

「ひかえよう！じかんを守ろう！きそく正しい生活をしよう！」



生徒の活躍

- バドミントン部 豊島区中学校秋季大会 女子個人ダブルス 第 5 位
***** (2 年)
- 卓球部 豊島区中学校秋季大会兼城北大会予選 シングルス ベスト 16
***** (2 年)
- 豊島区読書感想文コンクール
入選 「記憶屋を読んで」 ***** (1 年)
入選 「納得するまで関孝和から学んだこと」 ***** (2 年)
- 第 67 回全国小・中学校作文コンクール・東京都コンクール 佳作 ***** (3 年)
「スキーができるすばらしさ」